

# 題材名 「私がカメラで見た世界 私が心で見た世界」

第1学年 「A表現」(1)ア(ア)、(2)ア(ア)(イ)、「B鑑賞」(1)ア(ア)、〔共通事項〕(1)アイ

## ◆本実践の概要

校内を探検し、面白さや美しさを感じ取った場所を、1人1台端末のカメラ機能で撮影してくる。その写真を自身の心のフィルターを通してじっくり見つめてみると、どのように見えてくるだろうか、自身が抱いた印象をより強調させて再構成し(≒盛って)、心で見た世界として絵で表現する題材である。本題材では、ただ漠然と何かを描くのではなく、きちんと主題をもって制作に向かわせるために、制作に入る前段階に一例として参考作品を全体で鑑賞させ、もし自分だったら、その作品からどのような主題をもつかを考えさせ、仲間と交流する場面を設けた。また題材の終わりには、自分の描いた作品と最初に撮ってきた写真を見比べて鑑賞を行った。

## 1 題材の目標

### (1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージを捉える。(〔共通事項〕)
- ・アクリル絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。(「A表現」(2))

### (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・身近な場所のイメージなどを基に主題を生み出し、形や色彩、構図などの工夫を考え、表現する構想を練る。(「A表現」(1))
- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。(「B鑑賞」(1))

### (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。



## 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、場面や感情などを全体のイメージで捉えることを理解している。(知識)</p> <p><b>技</b> アクリル絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。(技能)</p>	<p><b>発</b> 身近な場所を見つめ感じ取ったイメージなどを基に主題を生み出し、形や色彩、構図などの工夫を考え、心豊かに表現する構想を練っている。(発想・構想)</p> <p><b>鑑</b> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。(鑑賞)</p>	<p><b>態表</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。(主体的に表現の学習に取り組む態度)</p> <p><b>態鑑</b> 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主体的に鑑賞の学習に取り組む態度)</p>



### 3 題材について

本題材は、「色や形の面白さ・美しさ」という視点で見慣れた校内を捉え直し、その中から気になった場所やものを見つけ、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出し、そのイメージをより強調させるため、色づかいや描き方を工夫しながらアクリル絵の具で表現するものである。

造形的な見方・考え方を働かせ、自分なりの視点で主題設定ができるよう、導入では、あえて題材の内容に触れず、「色や形の面白さ・美しさを感じる場所を切り取ってくること」をテーマに1人1台端末を使用して写真を複数枚撮ってくるよう伝える。

撮影後には、撮ってきた写真をグループで共有する時間を設ける。感じた面白さ・美しさやそこから広がるイメージを言語化させ、主題設定につなげる。多様な視点を獲得したところで、教師が準備した1枚の写真に対しクラス全体で感じた印象やイメージを挙げさせ、「そのイメージをより感じられるようにするには、どのような工夫や表現が考えられるか」と問いかける。何かを書き加えたり、逆に省略したり、色合いやかたちを強調させたりと様々なアイデアが挙がることを期待される。それを1つの例として、「自分が撮影してきたものから1つ選び、そこからとらえたイメージより“盛る”（協調する、実物よりもより美しく大げさに見せる、という意味合い）表現をして描いてみよう」と投げかける。これは、写真を撮るだけに留まらず、絵画表現へと一歩踏み込むための仕掛けである。

普段見慣れた場所やものでも、ふと足を止めて形や色彩、全体の様子に着目すると普段気が付かなかった発見があったり、それらが何かに見えてきたりする。こうした情景に対して自分なりの意味付けや価値付けは自身の価値観を顕在化させ、自分を見つめ直すことにつながる。本題材では自分がなぜその情景に惹かれているのかを自問自答していく中で表現主題を明らかにし、主題に合った表現方法を工夫しながら表現できるように指導していきたい。



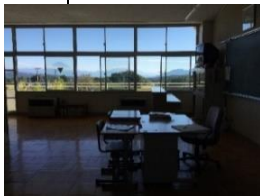

### 4 題材の計画（全8時間）

時間	学習内容	評価の観点					指導上の留意点
		○指導に生かす評価		◎記録に残す評価			
		知識	技能	発想 構想	鑑賞	態表 態鑑	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標や学習の流れを確認する。</li> <li>構図を工夫しながら1人1台端末で撮影し、グループ鑑賞しながら自分なりの主題をつかむ。</li> </ul>	○		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある造形的な美しさに目を向けさせる。</li> <li>その場所に魅かれた理由を大切にさせる。</li> </ul>
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時をもとにさらに主題を深める。必要があれば再撮影する。</li> <li>描きたいイメージ(主題)を決め、下描きを進める。</li> </ul>			◎ 観察 対話 WS			<ul style="list-style-type: none"> <li>必要以上に時間をかけすぎないように個別に指導する。</li> <li>※相互鑑賞を時間内に設定。</li> </ul>
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクリル絵の具の特性を理解しながら制作を進める。</li> <li>立体感や質感の表現を工夫し、順序を考えながら色描きする。</li> </ul>	◎ 観察 対話 作品	◎ 観察 対話 作品			◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題に合わせて色や描き方を工夫するなど、写真のトレースに留まらないよう指導する。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品票に自分の制作に込めた思いをまとめ、相互鑑賞を行う。</li> <li>仲間からの感想を踏まえ、制作の振り返りを行う。</li> </ul>				◎ 観察 対話 作品 WS	◎ 観察 対話 作品 WS	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的な視点で鑑賞できるように声かけをする。</li> <li>作品と撮影した画像を比較して鑑賞する。</li> </ul>

5 本時の授業（1時間目）

(1) 本時の目標 身近な場所を造形的な視点で見つめ、形や色彩などが感情にもたらす効果や、それらの造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。

(2) 本時の展開

時間	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>○本題材・本時の活動内容を理解する。</p> <p>○本時の目標と活動内容を確認する。</p> <p style="text-align: center;"><b>【本時の目標】色や形の面白さ・美しさを感じる場所をたくさん見付けよう！</b></p> <p>○本題材で意識する力を確認する。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>粘り強く、 (学びに向かう力、人間性等)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #d9ead3;">面白い・美しい色や形を見付けよう (知識及び技能)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #d9ead3;">自分の世界を広げよう (思考力、判断力、表現力等)</div> </div> </div>	<p>・「色や形の面白さ・美しさ」をテーマとし、校内から自分なりの価値観で探し、1人1台端末で構図を考えながら写真を撮ることを伝える。</p>
展開 40分	<p>○色や形の面白さ・美しさを感じる場所を探し、構図を考えながら写真を撮る。(20分)</p> <p>○「プレゼンタイム」それぞれが撮影してきた写真を小グループで鑑賞する。(10分)</p> <p>○教師が提示する1枚の写真について、全体の場で感じた印象やイメージを出し合う。それぞれ <u>自分ならどのような主題を設定し、どのような工夫をするか</u>、ウォーミングアップとして考え、発表し合う。(10分)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #fff9c4;">静かで爽やかな感じがするから、もっと青色に満ちた世界にしたい。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #fff9c4;">影が斜めに入っていて世界が割れているように見えるから、もっと不思議な世界にしたい。</p> </div> </div>	<p>・どのような角度や距離感で撮るといいか考え、複数枚撮影してくるように伝える。</p> <p>・活動が進まない生徒には、普段行かないような場所や見ない角度で探してみるよう助言する。</p> <p>・4人グループになって、自分が撮ってきた写真を1人2分ずつ紹介する。その際、どんな部分に面白さや美しさを感じたか、撮影における工夫などを伝えるよう促す。</p> <p>・感じ方に正解はなく、自由に発言してよいことを伝える。その中で「なぜそう感じたか」の根拠も話せるように問い返すなどする。</p> <p>・挙がったイメージを多様な視点から膨らませられるよう、多くの生徒から意見を出させる。</p>
終末 5分	<p>○WSに感想を記入・発表する。</p> <p>○本時の振り返りを行う。</p>	<p>・数人を指名して、感想を発表させる。</p> <p>・次時の見通しをもたせる。</p>



# 私がかメラで見た世界・私がか心で見た世界

**\*題材の目標\***

色や形の面白さ・美しさからイメージを膨らませて主題を見付け、アクリル絵の具を使って表し方を工夫して表現しよう！

知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
《知識》 見付ける・生かす	《技能》 試行錯誤する・工夫する	《発想や構想》 思い付く・思いをめぐらす	《鑑賞》 味わう・広げる・深める	《主体的に学習に取り組む態度》 粘り強く取り組む・学びをデザイン
*形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、場面や感情などを全体のイメージで捉えよう。	*アクリル絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表そう。	*身近な場所を見つめ感じ取ったイメージなどを基に主題を生み出し、形や色彩、構図などの工夫を考え、心豊かに表現する構想を練ろう。	*造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げよう。	*美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もう。

見つけた色や形の面白さ・美しさ

イメージを広げて…



どう表したい？

(いろいろな言葉で表してみよう！)

☆作品制作・振り返りシート

1年 組 番 ( )

時間 ( / )	授業の目標 ◀ 授業の内容 ▶	自己 評価	発揮した力に○をつける 知技 思判表 態度	授業の反省・頑張ったこと・工夫したこと 次回の見直し・課題・お悩み	今日感じたこと、考えたこと、 発見したこと、学んだこと
1 ( / )	◀ ▶	A B C	見付ける・生かす 思い付く・思いをめぐらす 試行錯誤する・工夫する 味わう・広げる・深める 粘り強く取り組む・学びをデザイン		
2 ( / )	◀ ▶	A B C	見付ける・生かす 思い付く・思いをめぐらす 工夫する・試行錯誤する 味わう・広げる・深める 粘り強く取り組む・学びをデザイン		

☆ ( ) の作品を鑑賞して

名前	感想コメント・アドバイス～作品のいいところ・工夫を感じたところ・真似したいところ～

☆制作を終えて

制作の感想	友達からのコメントを読んで	学んだこと	身についた・伸ばせた力

